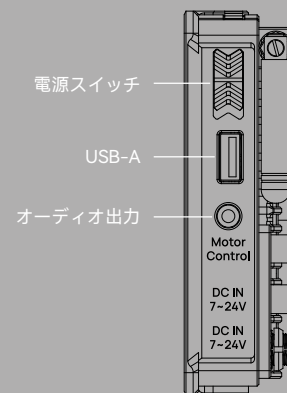
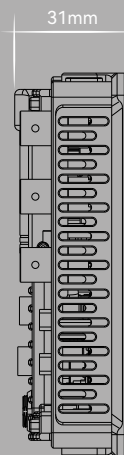
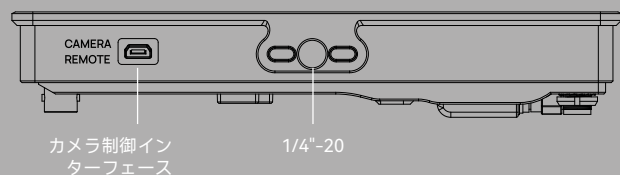
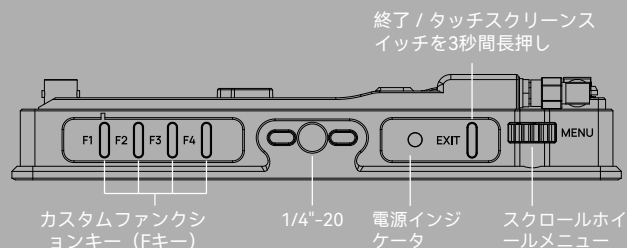
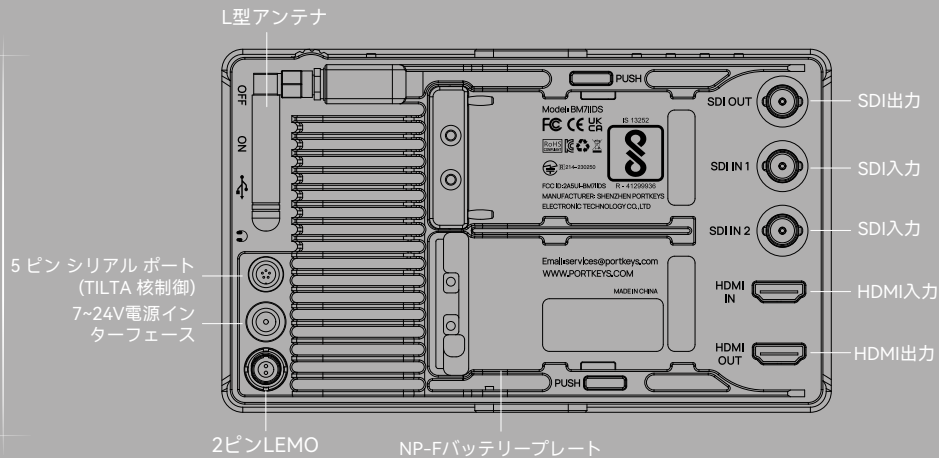
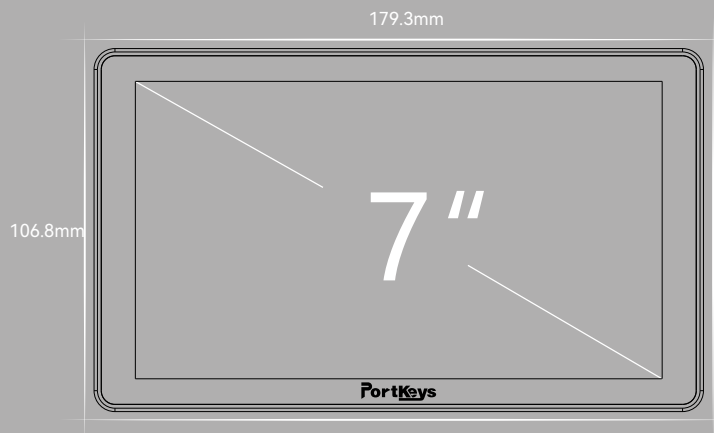


製品UIマニュアル



BM7 II DS

製品情報



基本パラメータ

包装内容明細書

画面サイズ:	7"
寸法:	179.3×106.8×31mm
視野角:	85 / 85 / 85 / 85
輝度:	2200nits
解像度:	1920x1080
コントラスト比:	1000:1
重さ:	460g
色域:	85%P3
マテリアル:	アルミニウム合金
入力電圧:	7~24V
最大出力:	15W
信号入力:	3G SDI X 2、HDMI
信号出力:	3G SDI、HDMI
オーディオ出力:	3.5mmヘッドフォンジャック
メニュー言語:	简体中文/繁體中文/English/日本語/Русский/Français/español
電源入力:	2-Pin LEMO/DC 5.5*2.1
信号変換:	HDMI/SDI変換
カメラ制御インターフェース:	CAMERA REMOTE
TILTA 核制御インターフェース:	Motor Control
サポートバッテリーモデル:	SONY NP-F970/F960/F750/F550
USB-A:	ファームウェアのアップグレード / LUTのロード
ファン:	Yes
オペレーティング・システム:	CINENORM OS

BM7 II DS モニター	ねじ込み式 DC 電源ケーブル
BM7 II DS サンシェード	落下防止ゴムケース
お客様フィードバック カード	セーフティボックス
L 型アンテナ	Y 型レンチ
ジェスチャー操作カード	マイクロ USB フラッシュスティック

サポートされている入出力解像度とフレームレート

HDMI信号
1920×1080p@23.97Hz,24Hz,25Hz,29.97Hz,30Hz,50Hz,59.94.Hz,60Hz
1920×1080psf@23.97Hz,24Hz,25Hz,29.97Hz,30Hz
1920×1080i@50Hz,59.94Hz,60Hz
1280×720p@50Hz,59.94Hz,60Hz
720x576p&720x576i@50Hz
720x480p&720x480i@50Hz,59.94Hz,60Hz

SDI信号
1920×1080p@50fps,59.94fps,60fps
1920×1080p@50Hz,59.94Hz,60Hz,YUV422
1920×1080p@23.98Hz,24Hz,25Hz,29.94Hz,30Hz YUV444/YUV422
1920×1080psf@23.98Hz,24Hz,25Hz,29.97Hz,30Hz YUV444/YUV422
1920×1080i@50Hz,59.94Hz,60Hz YUV444/YUV422
1280×720p@50Hz,59.94Hz,60Hz YUV444/YUV422

-  **クイックスタート**
01-03
-  **カスタムページ**
04
-  **デバイス接続チュートリアル**
05-06
-  **設定ページ**
07-09
-  **機能ページ**
10-17
-  **クイックアクセス**
18
-  **3D LUT 読み込みチュートリアル**
19
-  **ファームウェアアップデートチュートリアル**
20



最初のページ

モニターの電源を入れると背景画像が表示されます。画面をタップするかボタンを押すとメインメニューが表示されます。

操作手順:

- タッチスクリーン: タップ、長押し、またはスワイプ(上、下、左、右)。
- 外部ボタン: ノブやその他のボタンを使用します。



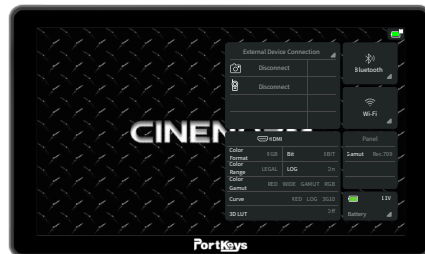
メインメニュー操作

* ステップ

画面をタップするか、ノブを押すとメインメニューが開きます。

メインメニューの概要:

-  バックライト: バーをスライドして画面の明るさを調整します。
-  ファン: 「」をクリックし、バーをスライドしてファン速度を調整します。
-  音量: 「」をクリックし、バーをスライドして音量を調整します。
-  デバイス接続: 接続ステータスとモードを表示します。
-  モニター設定: 画像、パネル、信号入力/出力を構成します。
-  バッテリー アイコン: 現在のステータスを表示します。
-  関数の追加: 関数を表示および追加します。
-  ヘルプ: ステータスバーに機能アイコン名を表示します。
-  機能: キャプチャした画像をリアルタイムで監視、調整、最適化するためのさまざまなツールを提供します。



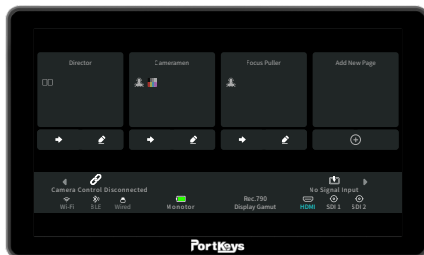
ステータスの監視

* ステップ

右上隅のバッテリーアイコンをタップします  (一部のページでは利用できません)。

ステータスバーの概要:

- 外部デバイスの接続: デバイスの接続ステータスを表示します。
- WiFi/Bluetooth: 設定を表示するには、表示または長押しします。
- 信号入力設定: 「モニター設定 > 入力」で変更します。
- パネルキャリブレーション情報: キャリブレーションステータスを表示します。
- バッテリー電圧情報: 「」をクリックすると電源モードが切り替わり、正確な表示ができます。



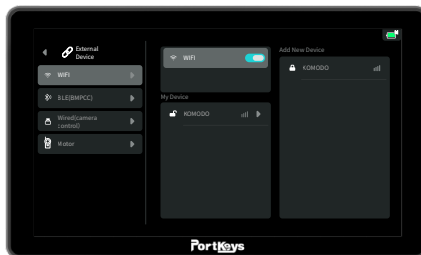
カスタムページ

* ステップ

メインメニューから下にスワイプしてカスタムページにアクセスします。

カスタムページの概要:

- ページ名: 「 > 
」をクリックして名前を変更します。追加された機能はステータスバーに表示されます。
- ページの管理: 複数のページが作成されている場合は、ページの名前を変更したり、テンプレートとして保存したり、削除したり、移動したりします。
- 左下にデバイス接続モードが表示されます。クリックすると外部デバイス接続ページに入ります。
- 信号入力モードは右下に表示されます。クリックすると「システム設定 > 入力」ページに入ります。
- バッテリーと色の設定: 下部に表示されます。



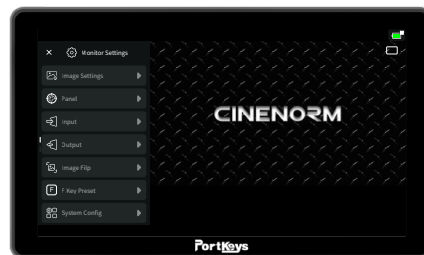
カメラコントロール接続ページ

* ステップ

メインメニューページの左側にある接続アイコン「」をクリックして入ります。

カメラコントロール接続ページの概要:

- ワイヤレス接続: リストからカメラを選択し、ペアリングパスワード (大文字と小文字が区別されます) を入力します。モニターはデバイスを保存し、次の自動接続に使用します。(詳細なチュートリアルは 05 ページにあります)
- Bluetooth 接続: WiFi と同様です。
- 有線接続: カメラ制御ケーブルを「カメラリモート」ポートに接続し、「接続」をクリックしてカメラのブランドを選択します。(詳細なチュートリアルは 06 ページにあります)
- モーター: 直接接続して使用します。



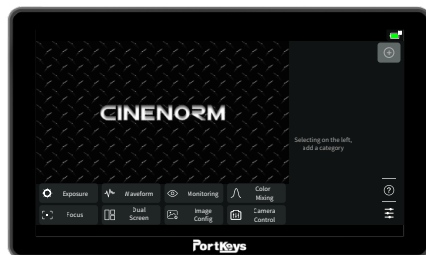
モニター設定ページ

* ステップ

メインメニューページの左側にある設定アイコン「」をクリックして。

モニター設定ページの概要:

- 画像設定: 表示設定を調整して色と明るさを最適化します。
- パネルキャリブレーション: プリセットおよびカスタムカラーキャリブレーション。
- 入力: 信号ソースを選択し、カメラの LOG 設定を構成します。
- 出力: 出力信号を管理します。
- 画像反転: 画像を水平または垂直に反転します。
- F キープリセット: 物理的な F キーにモニター機能を割り当てます。
- システム構成: 基本的なモニター設定を調整および管理します。
- ユーザー プロファイル: USB 経由で設定を保存またはインポートします。



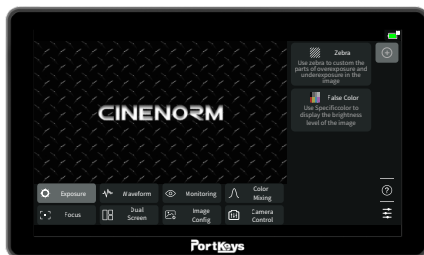
機能ページ

* ステップ

メインメニューの右側にある機能アイコン「≡」をクリックします。

機能ページ概要:

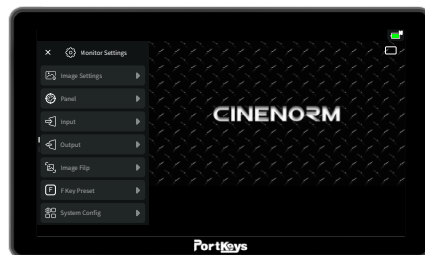
- 露出: 画像の明るさを調整し、露出オーバーの領域を特定します。
- 波形: 露出と色の分布を分析します。
- モニター: 構図の補助とリアルタイムの画像チェックを行います。
- 色調整: 画像の色を調整および制御します。
- ピーキング: フォーカス領域を強調表示して、正確にフォーカスを合わせます。
- マルチビュー: 複数の画像ソースを表示します。
- 画像設定: 表示設定を調整して色と明るさを最適化します。
- カメラコントロール: モニターから直接カメラを制御します。



関数の追加

* ステップ

アイコン「≡」をクリックすると、機能追加ページが開きます。「露出」の下にある「縞ゼブラ」などの機能を選択し、パラメータを調整します。追加されると、ステータスバーにゼブラアイコンが表示されます。(詳細なチュートリアルは10ページにあります)



Fキーとホイールのプリセット

* ステップ

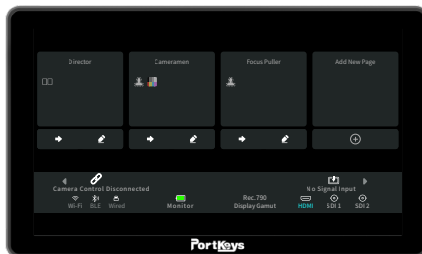
Fキーに機能を割り当てるには、「モニター設定 > Fキープリセット」をクリックします。Fキーを押してアクティブにします。ホイールは、画像またはカメラ制御機能用にプリセットすることもできます。



1、ジェスチャーコントロール

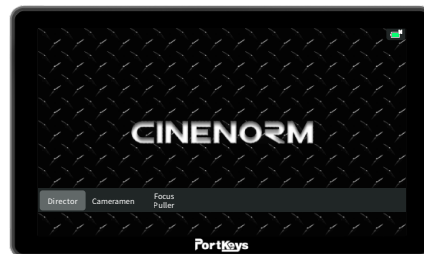
メインメニューページを下にスワイプすると、カスタムページが表示されます。

左または右にスワイプすると、カスタムページが切り替わります。



2、カスタムページの概要

1. ページ名: 名前を変更するには「✎」をクリックします。
2. ページの管理: 複数のページが作成されている場合は、ページの名前を変更したり、テンプレートとして保存したり、削除したり、移動したりします。
3. 左下にデバイス接続モードが表示されます。クリックすると外部デバイス接続ページに入ります。
4. 信号入力モードは右下に表示されます。クリックすると「システム設定 > 入力」ページに入ります。
5. バッテリーと色の設定: 下部に表示されます。

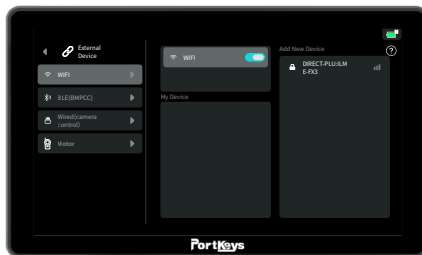


3、ページの追加

「⊕」をクリックすると、デフォルト設定の新しいページが追加されます。撮影のニーズに応じてパラメータを調整します。各ページの設定は独立しており、さまざまなシーンやデバイスに合わせて調整されています。プリセットしたら、メインメニューを左または右にスワイプしてページをすばやく切り替えます。



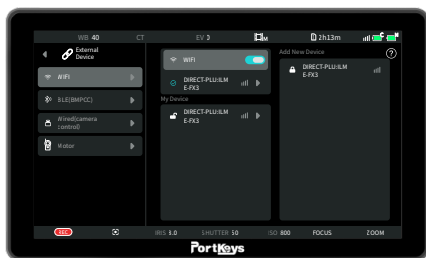
- 1、メインメニューページで、外部デバイス接続アイコン「」をクリックし、「WiFi > 有効」を選択してカメラを検索し、接続します。



- 2、接続のトラブルシューティング：モニターがカメラを検出できない場合は、次の手順に従ってください。
 1. カメラの参照表をチェックして互換性を確認します（表の右上のアイコン「」をクリックします）。
 2. カメラの無線周波数が一致していることを確認します。
 3. カメラのデフォルトのニックネームを復元し、再接続を試みます。
 4. カメラがペアリングモードになっているかどうかを確認します。



- 3、大文字と小文字に注意して、パスワードが正しく入力されていることを確認してください。



- 4、モニターがカメラに正常に接続されると、デバイス情報が保存されます。カメラとモニターの両方の電源がオンになると、自動的に再接続されます。

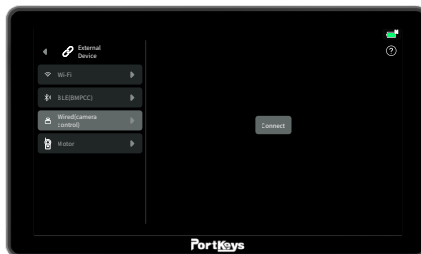


- 5、モニターの制御機能は、カメラのブランドやモデルによって異なります。

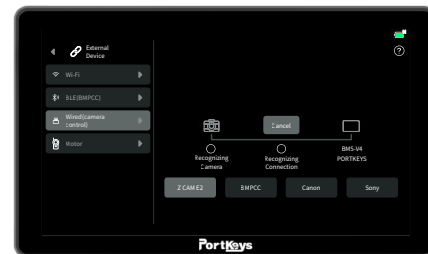
注意: Bluetooth 接続のプロセスは WiFi と似ていますが、カメラ接続ページによって若干異なる場合があります。



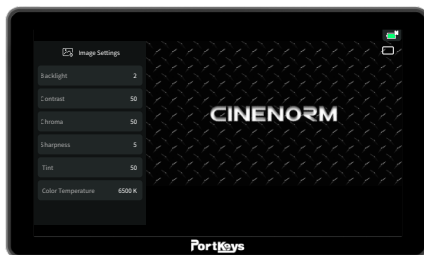
1、
ミニ USB 10 ピン ケーブルをモニターの下部にある CAMERA REMOTE コントロール インターフェイスに接続し、もう一方の端をカメラのコントロール インターフェイスに接続します。



2、
メインメニューページで、外部デバイス接続アイコン「」をクリックし、「 有線（カメラコントロール）」を選択して「接続」をクリックします。



3、
認識されたら、カメラのブランドを選択して接続を完了します。



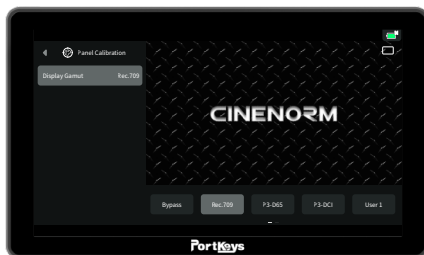
画像設定ページ

ディスプレイ設定を調整して、色と明るさを最適化します。

* ステップ

メインメニューの左側にある設定アイコン「」をクリックし、「 画像設定」を選択して入ります。

- バックライト: バックライトの明るさを調整します。
範囲: 1~10
- コントラスト: 暗い部分と明るい部分のコントラストを調整します。
範囲: 0~100
- 彩度: 色の強さを調節します。
範囲: 0~100
- シャープネス: 画像のシャープネスを調整します。
範囲: 0~10
- 色合い: 全体的な色調を調整します。
範囲: 0~100
- 色温度: ディスプレイの暖かさや冷たさをコントロールします。
範囲: 5500K、6500K、7500K、9300K
カスタム範囲: 赤、緑、青 (0~255)



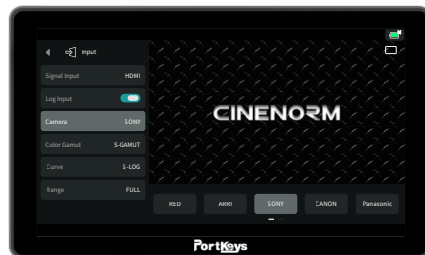
パネルキャリブレーションページ

プリセットおよびカスタムの色調整。

* ステップ

メインメニューページで、アイコン「」(左側)をクリックしてモニター設定に入り、 パネルを選択します。

- バイパス: すべてのカラーキャリブレーションと処理を無効にし、調整されていない生の信号を表示します。
- REC.709: HD TV およびオンライン ビデオの標準カラー スペース。主に放送や HD コンテンツに使用されます。
- P3-D65: 自然なホワイトバランスと豊かな色再現を実現する D65 (6500K) ホワイトポイントを備えた広い色域スペース。
- P3-DCI: デジタル シネマ イニシアチブ (DCI) に準拠した、映画制作に適したデジタル シネマの標準カラー スペース。
- ユーザー: ユーザーの好みに合わせて調整されたカスタム カラー スペース。



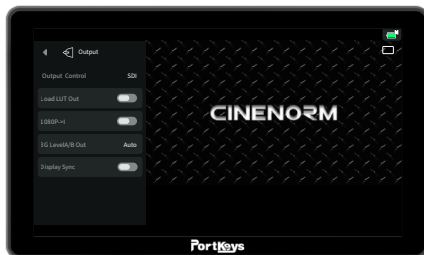
入力ページ

モニターの正しい信号ソースを選択して、接続されたデバイスが正しい入力方法を使用していることを確認し、必要に応じてカメラの LOG モードを調整します。

* ステップ

メインメニューページで、アイコン「」(左側)をクリックしてモニター設定に入り、入力を選択します。

- 入力信号: モニターの入力信号設定を管理します。
- 入力 LOG: カメラの設定に基づいて適切な LOG モードを選択します。たとえば、S-GAMUT カラー スペースと S-LOG カーブを備えた Sony カメラを使用している場合は、これらの設定に合わせてモニターを設定します。False Color などのモニターのツールは、選択した LOG 信号に基づいて調整されます。これにより、さまざまな LOG 信号にわたって画像を正しく監視できます。



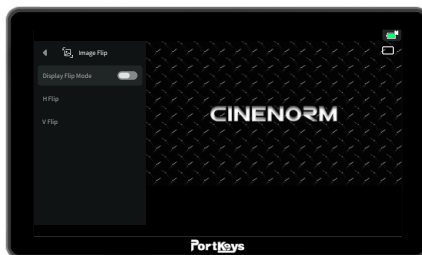
出力ページ

さまざまなデバイスに合わせてモニターの出力信号を管理および調整します。

* ステップ

メインメニューページでアイコン「」をクリックしてモニター設定に入り、出力を選択します。

- 出力コントロール: モニターの出力信号設定を管理します。
- LUT 出力: 信号をエクスポートするときに、特定の LUT スタイルを出力画像に直接適用します。
- 1080P ダウンスケーリング: 1080p 信号を低解像度に処理するか、単一チャンネルを介して処理し、特定のデバイス要件に合わせて信号パスを最適化します。
- 3G レベル A/B: 3G-SDI インターフェイスを介して高解像度信号を転送します。レベル A は単一の 1080p 信号を転送し、レベル B は信号を 2 つに分割して、さまざまなデバイスとの互換性を強化します。
- ディスプレイ同期: モニター上の画像が接続されたデバイスと同期されていることを確認し、表示される画像の遅延や不一致を防ぎます。



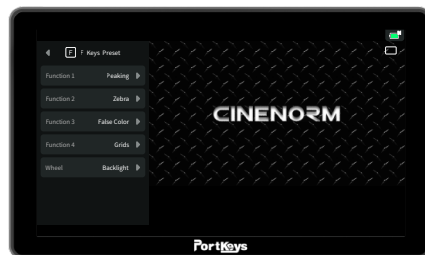
画像フリップページ

画像の表示方向を水平軸または垂直軸に沿って調整します。

* ステップ

メインメニューの左側にあるアイコン「」をクリックしてモニター設定に入り、「イメージ反転」をクリックして入ります。

- 水平反転: 画像を左から右に反転します。ミラーリング設定に便利です。
- 垂直反転: 画像を上下反転します。上下逆さまの設置に最適です。



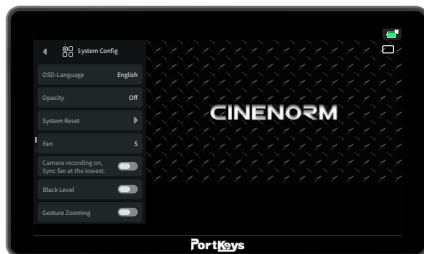
Fキープリセット

物理ボタンを使用してプリセット機能をすばやく有効または無効にできるので、操作が簡単になります。

* ステップ

メインメニューページの左側で、「」をクリックしてモニター設定に入り、「F キープリセット」をクリックして入ります。

- プリセット操作: プリセット ページで、F キーをクリックしてプリセット機能を設定または変更します。置き換え可能な機能ページが表示されるので、新しい機能をクリックして置き換えを完了します。
- スクロール ホイールのプリセット: スクロールホイールのプリセットは F キーのプリセットとは異なります。一部の画像設定とカメラ制御機能をプリセットできます。モニターのスタンバイモードでスクロールしてプリセット機能を調整します。



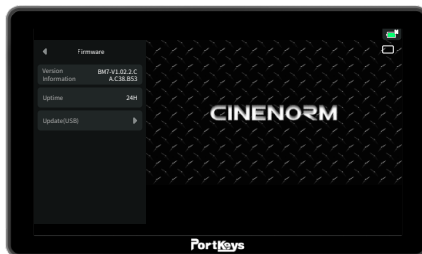
システム構成

基本的なモニター設定を調整および管理します。

* ステップ

メインメニューページで、設定アイコン「」をクリックし、「システム構成」をクリックしてアクセスします。

- OSD言語: 简体中文/繁体中文/英語/日本語 /Русский/Français/español
- 不透明度: メニューの不透明度を調整して、画面のコンテンツを見やすくします。
調整範囲: オフ / 低 / 中 / 高
- システムリセット: モニターを工場出荷時の設定に戻します。
- ファン調整範囲: 1~10
- カメラ録画オン: ファンを最低速度に同期: カメラ録画が開始すると、ノイズを低減するためにファンを自動的に最低速度に設定します。
- ジェスチャーズーム: 詳細を表示するためにズームインを容易にします。
- 音量調節範囲: 0~10
- SDIタリー: ビデオ制作で使用される信号表示システム。マルチカメラ撮影やライブストリーミングでよく使用されます。
- 録画ボタンの位置: カメラコントロール録画ボタンの位置を調整します。
調整範囲: 左下/中央下/右下
- ファームウェア: モニターのファームウェアのバージョンとアップデートを表示および管理します。



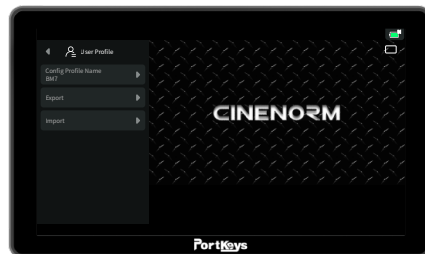
ファームウェアページ

モニターのファームウェアのバージョンとアップデートを表示および管理します。

* ステップ

メインメニューページの左側にあるアイコン「」をクリックしてモニター設定に入り、「システム構成>ファームウェア」をクリックして入ります。

- バージョン情報: 現在のファームウェアバージョンを確認します。
- 稼働時間: モニターの累積稼働時間を表示します。
- ソフトウェア アップデート (USB): USB 経由でファームウェアを更新し、モニターが最新のソフトウェアバージョンを実行するようにします。(詳細なチュートリアルについては、19 ページを参照してください)



ユーザープロフィールページ

外部 USB 経由でモニター パラメータ ファイルを保存またはインポートすると、モニターをすばやく切り替えることができ、さまざまなパラメータを繰り返し調整する必要がなくなります。

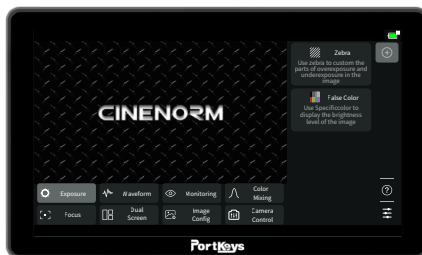
* ステップ

メインメニューページの左側にあるアイコン「」をクリックしてモニター設定に入り、「ユーザープロファイル」をクリックして入ります。

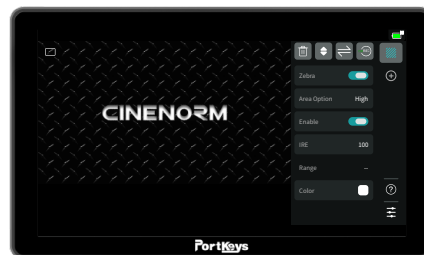
- プロファイル名: 現在のプロファイル名を表示および変更します
- インポート: 現在の設定を外部ストレージに保存して、モニターを変更するときに簡単に復元できるようにします。
- エクスポート: 以前に保存した設定を外部ストレージから読み込み、パーソナライズされた設定をすばやく復元します。



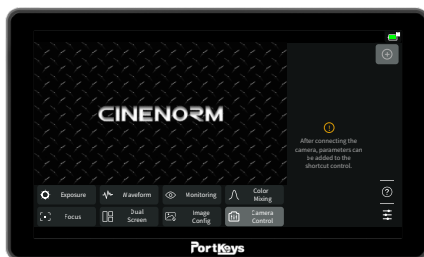
- 1、
メインメニューページで、右下にある「≡」アイコンをクリックして、機能追加ページに入ります。



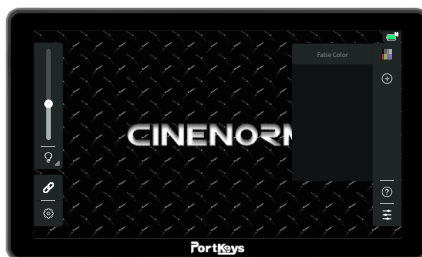
- 2、
必要な機能カテゴリを選択します。
たとえば、「露出>ゼブラ」をクリックして調整ページに入ります。右側の機能ステータスバーにゼブラアイコンが表示され、正常に追加されたことを示します。



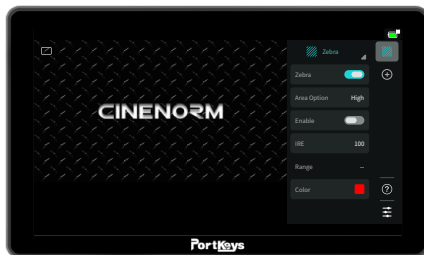
- 3、
「削除」、「位置調整」、「戻る」、
「録音キーと機能同期」のオプションのパラメータの上にあるアイコン「▲」をクリックして、機能を調整します。



- 4、
カメラ制御機能を追加するには、接続されたカメラが必要です。



- 5、
「②」をクリックすると、追加された機能のニックネームが表示されます。



シマウマ

ゼブラを使用して、画像内の露出オーバーと露出不足の部分をカスタマイズします。

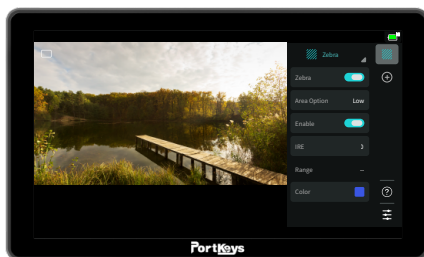
ゼブラと IRE 機能: 画像の明るさが設定されたしきい値に達すると、その領域にゼブラ ストライプが表示され、露出オーバーまたは露出不足を示します。

-7 IRE: 非常に暗い黒、完全な黒に近いことを表します。

0 IRE: 明るさ情報のない完全に黒い信号を表します。

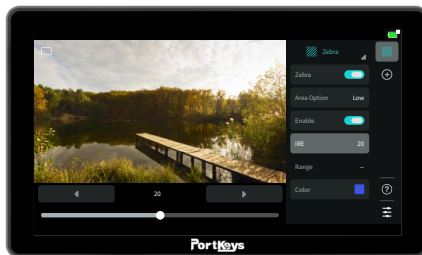
100 IRE: 完全に白い信号を表し、最大輝度に達します。

>100 IRE: 通常の範囲を超える明るさレベルを示し、通常は露出オーバーを意味します。

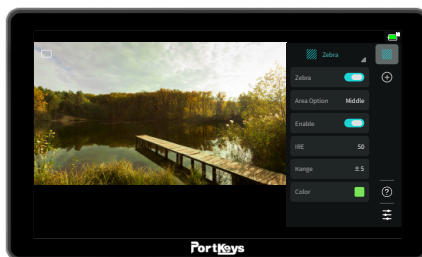


Zebra 関数のクイック スタート ガイド

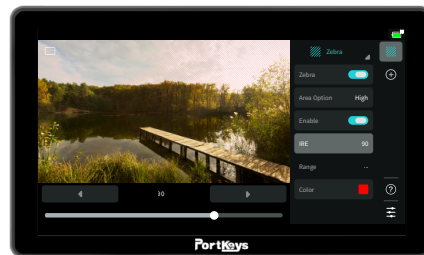
モニター機能メニューで、露出 > ゼブラを選択します。機能を追加したら、ゼブラを有効にします。撮影の目的に応じて、重要な領域が正しくマークされていることを確認するために、「低」、「中」、「高」の露出領域にゼブラ ラインを表示するかどうかを選択します。



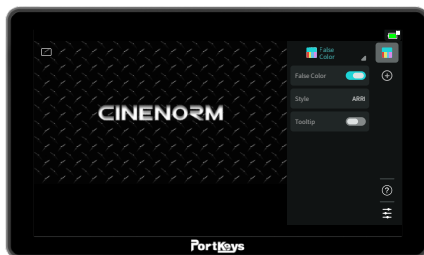
例: 露出不足の領域を監視する場合、領域オプションで「低」を選択し、IRE 値を適切な範囲に調整します。画像にゼブラ ストライプが表示される場合は、その領域が暗すぎることを意味します。ゼブラ ストライプが消えるか小さくなるまでカメラのパラメータ (IRIS、シャッター速度、ISO など) を調整し、画像の詳細が保持されるようにします。



通常の露出の監視: 領域オプションで「中」を選択し、IRE しきい値を 40 ~ 70 に設定します。新しい範囲オプションが表示され、画像内のゼブラ ラインをより正確に制御して最適な結果を得ることができます。



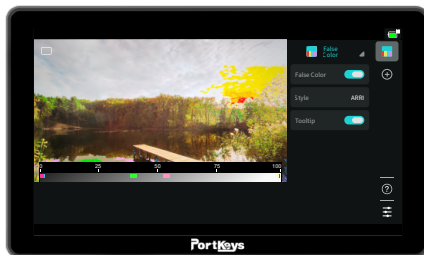
露出オーバーの監視: エリア オプションで「高」を選択し、IRE しきい値を 80 ~ 90 に設定して露出オーバーを防止します。撮影のニーズに応じて、ゼブラを使用して露出しきい値を監視およびマークし、画像からのフィードバックに基づいてカメラ設定を調整します。



偽色

特定の色を使用して画像の明るさレベルを表示します。

露出領域を明るさの値で分離し、各色が特定の明るさの範囲に対応するため、ユーザーは露出オーバー、露出不足、および露出正常な領域をすばやく識別できます。

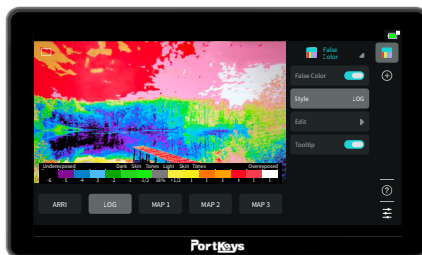


ARRI 擬似カラー: 擬似カラーは、映画や広告など、高ダイナミックレンジと正確な露出を必要とするシナリオで広く使用されています。これにより、明るさの分布をすばやく評価し、重要な領域の正確な露出を確保できます。

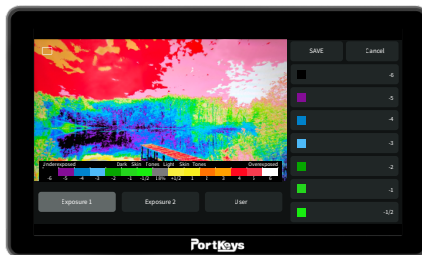
緑: 通常の光。通常は 18% のミディアムグレーを指します。
黄色と赤: ハイライト領域。黄色は明るすぎることを警告し、赤は深刻な露出オーバーを示します。

青: 暗い領域。濃い青は、露出不足に近い、またはすでに露出不足の領域を示します。

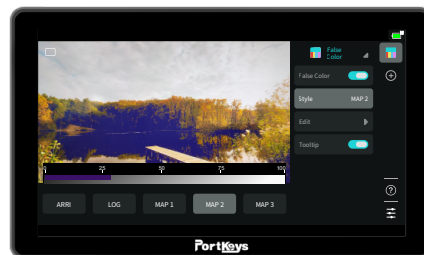
ピンク: 肌色の露出。人物を撮影するときに適切な露出に役立ちます。



LOG 擬似カラー: LOG ガンマ曲線用に設計されたこのモードは、ダイナミックレンジを強化し、ハイライトとシャドウの詳細をより多く保持するためによく使用されます。標準の擬似カラーと比較して、LOG 擬似カラーはより詳細な露出ゾーンとより細かい露出情報を提供するため、正確な明るさの制御が必要なシーンに適しています。

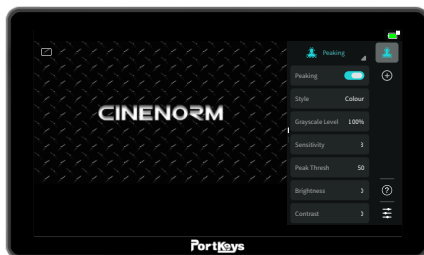


LOG モード認識: モニターは入力信号からカメラモデルと LOG 曲線タイプを認識できます。S-LOG、C-LOG、V-LOG などの LOG 曲線の特定の特性に基づいて、モニターはそれに応じて擬似カラー表示を調整します。LOG 擬似カラーは、LOG 曲線に応じて異なる明るさと色の範囲をマッピングし、ユーザーは各露出ゾーンで色応答をカスタマイズすることもできます。



MAP 1: 撮影ニーズに基づいて、ユーザーは偽色設定をカスタマイズし、露出不足、通常露出、露出過多のゾーンを異なる色で定義できます。最大 15 個のゾーンと色を追加できます。

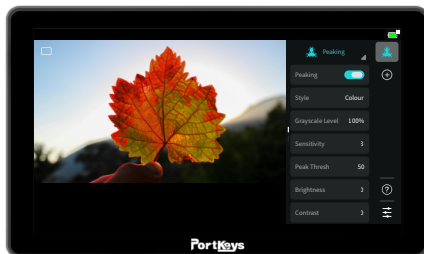
偽色設定は、MAP 1、MAP 2、MAP 3 でカスタマイズできます。



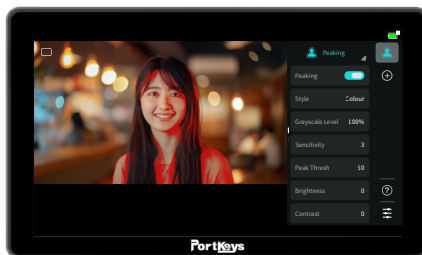
ピーキング

特定の色を使用してフォーカス位置をマークします。

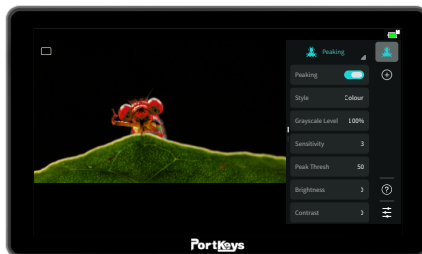
ピーキング機能は、カメラで撮影した画像を分析して、各ピクセルの明るさや色を周囲のピクセルと比較します。高コントラスト領域が検出されると、ピーキングによりその領域が明るい色で強調表示されるため、ユーザーはフォーカス領域をすばやく特定できます。



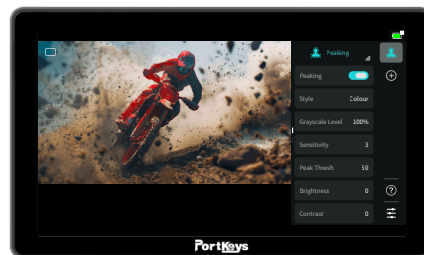
モニター機能 > フォーカス > ピーキングで、ピーキングを有効にすると、画像がハイライト表示され、フォーカス領域が表示されます。現在の撮影環境に適したハイライト色を選択します。感度を調整してハイライト領域を増減し、目的のフォーカス領域が明確にマークされるまでフォーカスリングを動かして、リアルタイムでフォーカスを調整します。



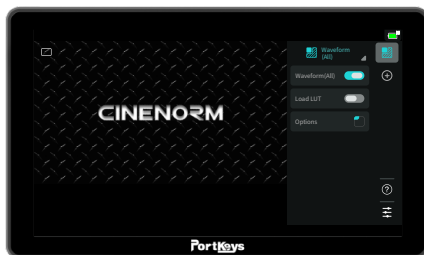
ポートレート写真: ポートレートを撮影する場合、ピーキングを使用して被写体の目の鮮明さを確認できます。フォーカスリングを調整して、目の高輝度マークが安定していることを確認します。これは、フォーカスが正確に目に合っていることを示します。



マクロ撮影: 小さな物体を撮影する場合、ピーキングを使用すると、正確に焦点を合わせられる領域を特定できます。花の雄しべや昆虫の目などの細かい部分をターゲットにするには、ハイライトされたマークを調整します。



ビデオ撮影: ビデオモードでは、ピーキングをFキーに割り当てることで、オン/オフをすばやく制御できます。撮影中、特にフォーカスプルや高速トランジションでは、ピーキングによって鮮明なフォーカスを維持できます。

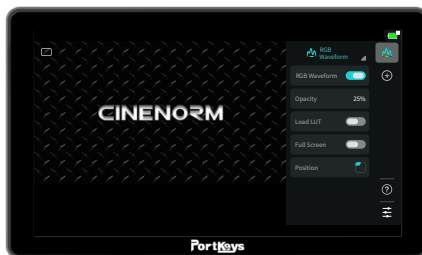


波形(すべて)

明るさ、色、オーディオ、画像のオシログラムを同時に表示します。

LUT の読み込み: ☐ / ☒

オプション: ☐ / ☒



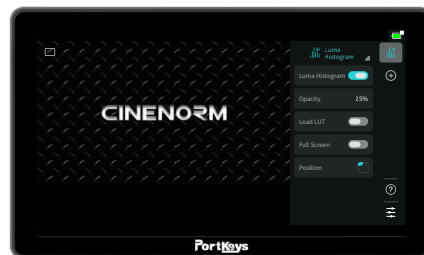
RGB波形

画像の3つのRGBカラーをドットプロット分布で表示します。

不透明度: オフ / 25% / 50% / 75%

LUT 読み込み: ☐ / ☒ 全画面: ☐ / ☒

位置: ☐ / ☒ / ☐ / ☒ / ☐ / ☒ / ☐ / ☒



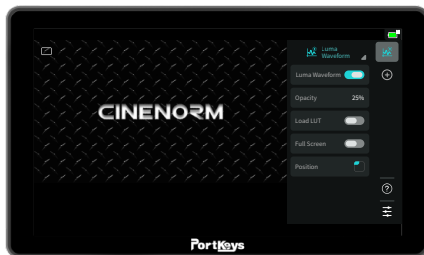
輝度ヒストグラム

ブロックプロット分布を使用して明るさのレベルを表示します。

不透明度: オフ / 25% / 50% / 75%

LUT 読み込み: ☐ / ☒ 全画面: ☐ / ☒

位置: ☐ / ☒ / ☐ / ☒ / ☐ / ☒ / ☐ / ☒



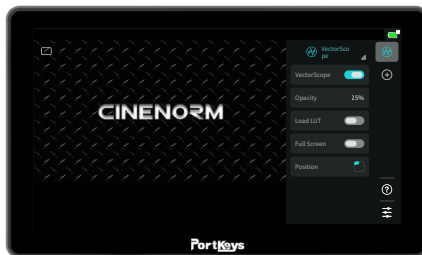
輝度波形

ドットプロット分布を使用して明るさのレベルを表示します。

不透明度: オフ / 25% / 50% / 75%

LUT 読み込み: ☐ / ☒ 全画面: ☐ / ☒

位置: ☐ / ☒ / ☐ / ☒ / ☐ / ☒ / ☐ / ☒



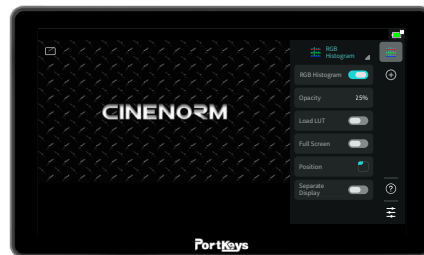
ベクトルスコープ

カメラの色補正としてカラーカードと一緒に使用できます。

不透明度: オフ / 25% / 50% / 75%

LUT 読み込み: ☐ / ☒ 全画面: ☐ / ☒

位置: ☐ / ☒ / ☐ / ☒ / ☐ / ☒ / ☐ / ☒



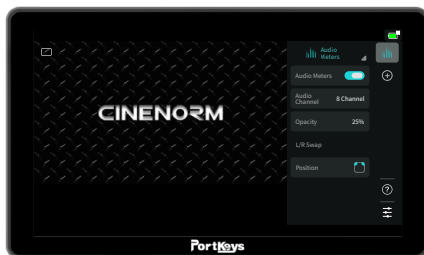
RGBヒストグラム

画像の3つのRGBカラーをブロックプロット分布で表示します。

不透明度: オフ / 25% / 50% / 75%

LUT 読み込み: ☐ / ☒ 全画面: ☐ / ☒

別表示: ☐ / ☒



オーディオメーター

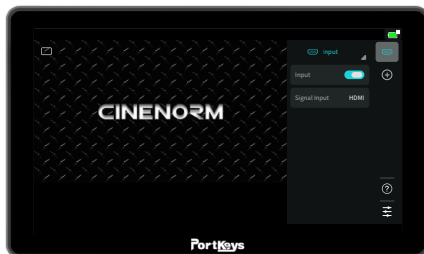
音量レベルを監視します。

オーディオチャンネル: 2チャンネル/8チャンネル

不透明度: オフ/25%/50%/75%

L/Rスワップ: デュアルチャンネルモードのみ有効

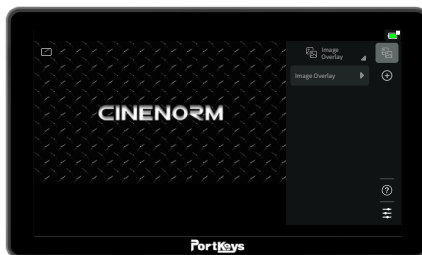
位置:



入力

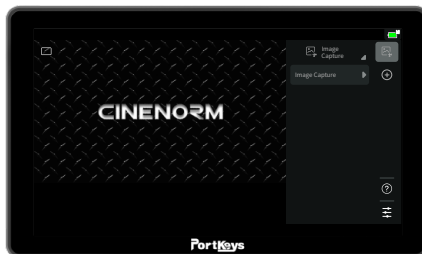
入力信号。

信号入力: HDMI/SDI



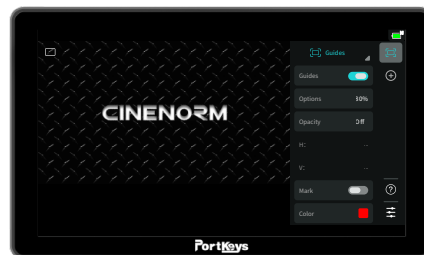
画像オーバーレイ

半透明のJPG画像をビデオにオーバーレイします。
(USBスティックが必要です)



画像キャプチャ

ビデオから1フレームの画像をキャプチャし、
USBスティックにJPGとして保存します。
(USBスティックが必要です)



ガイド

合成やマスキングの際に使用します。

オプション:

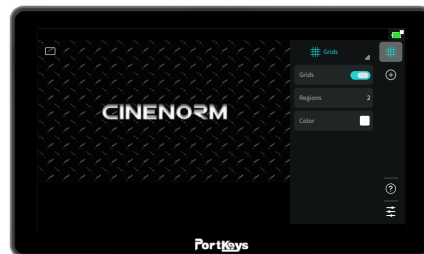
80%/90%/1:1/16:9/9:16/15:9/4:3/1.5:1/

1.85:1/2:1/2.35:1/2.39:1/ユーザー

不透明度: オフ/低/中/高

H/V: カスタム設定でのみ調整可能

マーク: 色:

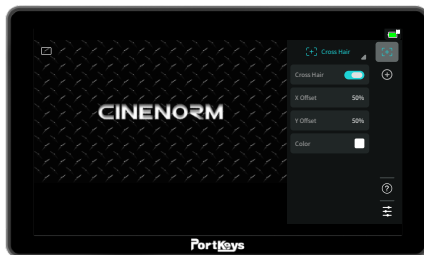


グリッド

9種類のグリッド構成線。

地域: 1~9

色:

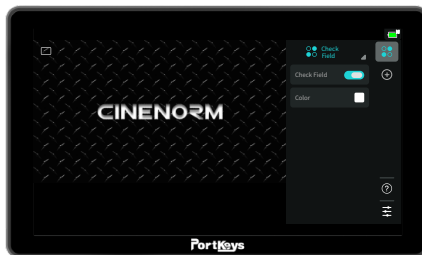


クロスヘア

画像の中央に十字マークがあります。

Xオフセット: 0%~100% Yオフセット: 0%~100%

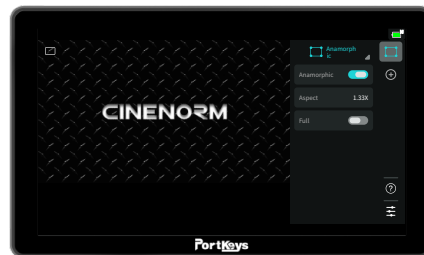
色: ☐ / ☐ / ☐ / ☐



チェックフィールド

赤、緑、青、白の4つの単色スクリーン。

色: ☐ / ☐ / ☐ / ☐



アナモルフィック

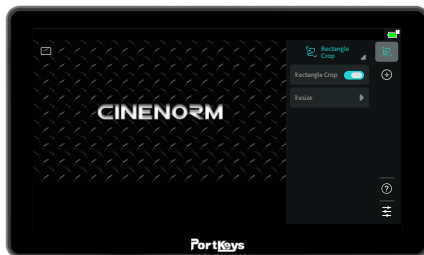
アナモルフィック・デスキーズ。

アスペクト比:

1.33X/1.42X/1.50X/1.60X/1.66X/1.80X/

1.85X/2.00X/2.35X/ユーザー

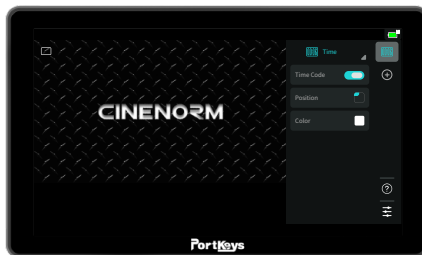
フル: ☐ / ☒



長方形切り抜き

フルスクリーン表示用に長方形の画像を任意に切り取ります。

サイズ変更: トリミング フレームの位置、幅、高さを水平方向と垂直方向に調整します。



タイムコード

HDMI および SDI ビデオのタイムコードを表示します。

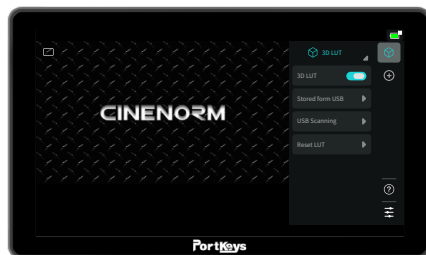
位置: ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐

色: ☐ / ☐ / ☐ / ☐



画面をオフにする

スタンバイ モードに入り、任意の物理キーを押して起動します。



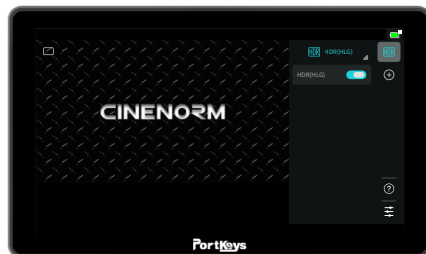
3D LUT

画面の色調整 LUT とスタイリング LUT。

ユーザーストレージ: モニターに保存されている LUT ファイル。

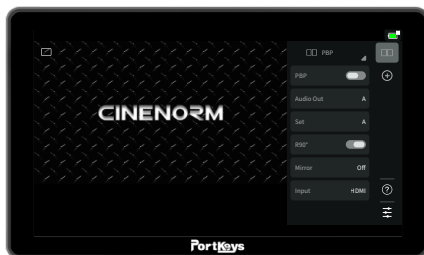
USB スキャン: USB スティックからモニターに LUT をインポートし、ユーザーストレージからアクセスできます。

画像を LUT 適用前の状態に戻します。(詳細な手順については、19 ページを参照してください。)



HDR(HLG)

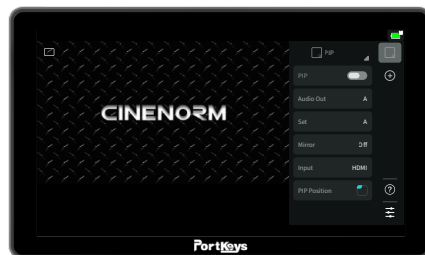
HDR では、より多くのシャドウとハイライトの詳細が表示されます。



PBP

水平方向と垂直方向の両方で 2 つの画像を同時に表示します。

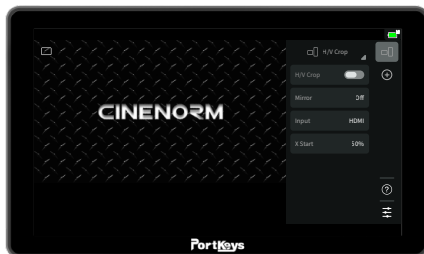
オーディオ出力: A/B 設定: A/B
R90°: ☐ / ☒ ミラー: オフ/H/V/ALL
入力: HDMI/SDI



PIP

デュアルビデオ、異なるサイズの 2 つのビデオ画面を同時に表示します。

オーディオ出力: A/B 設定: A/B
ミラー: オフ/H/V/ALL
入力: HDMI/SDI
PIP 位置: ☐ / ☐ / ☐ / ☐



H2Vクropp

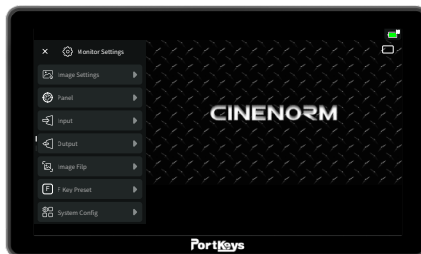
1 つの水平画像を表示し、別の垂直画像をトリミングします。

ミラー: オフ/H/V/ALL
入力: HDMI/SDI
X 開始: 水平方向の垂直クroppを調整します。



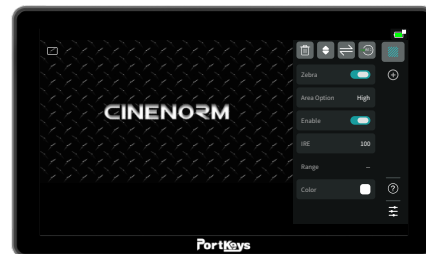
カメラコントロール

カメラコントロールをFキーにクイック保存: 押し続けると、カメラコントロール機能がFキーに保存されます。たとえば、シャッター機能を選択した後、外部ボタンF1-2を押したまま、カウントダウンが終了するまで待つてから保存を完了します。



大画面と小画面を切り替える

操作中は、画面の左上または右上に「ズームイン」または「ズームアウト」アイコンが表示され、表示される画像のサイズを調整できます。

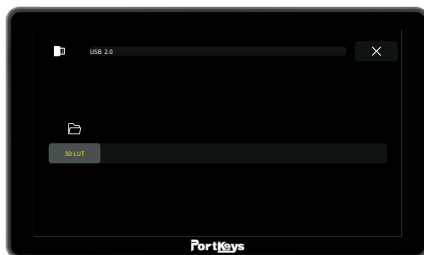


ツールスイッチを記録ボタンにバインド

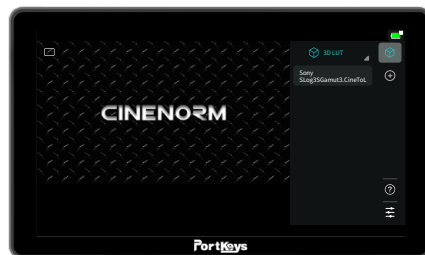
10ページの操作手順を参照してください。録画ボタンをバインドした後、録画を開始すると、モニター機能が有効になります。（機能が現在の操作をサポートしていない場合、機能アイコンに黄色の感嘆符が表示されます。）



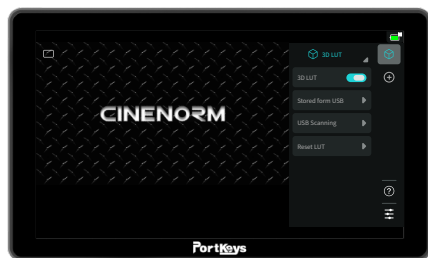
- 1、更新ファイルを含む USB スティックをモニターの USB ポートに挿入します。



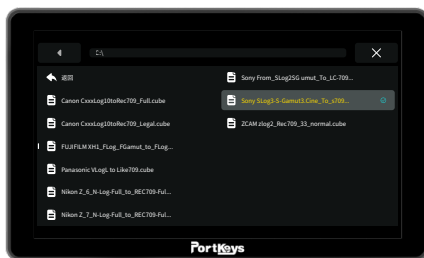
- 3、「3D LUT」フォルダをクリックし、3D LUT フォルダを開いて LUT ファイルにアクセスします。



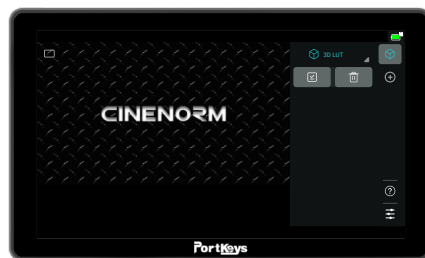
- 5、3D LUT > ユーザストレージで、インポートされた LUT ファイルを表示します (LUT ファイルはモニターに繰り返し保存できます)。



- 2、「機能 > ハカラーグレーディング > 3D LUT > USB 検索」でクリックすると、USB スティックに保存されている LUT ファイルを検索します。



- 4、保存する LUT ファイルをダブルクリックします。進行状況バーが完了するまで待ちます。チェックマーク「☑」が表示され、インポートが成功したことを示します。



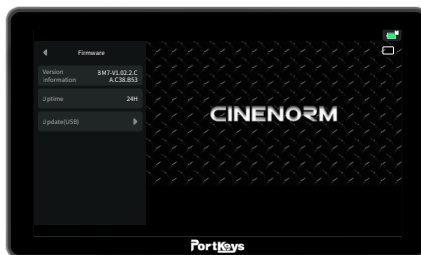
- 6、LUT ファイルをクリックして、「3D LUT を適用」または「3D LUT を削除」します。



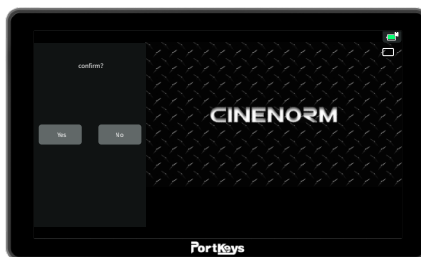
1、
公式ウェブサイト (portkeys.com) から対応するファームウェア更新パッケージをダウンロードし、メインのファームウェア更新ファイルを抽出して、USBスティックのルート ディレクトリに転送します。



2、
ファームウェア アップデートが保存されているUSB スティックをモニターの USB ポートに挿入します。



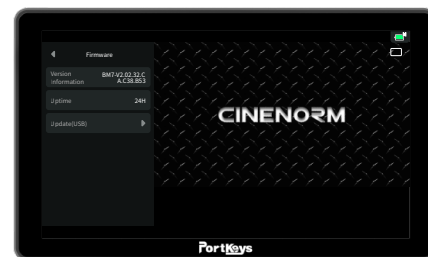
3、
⊗ モニター設定 > 部 システム構成 > ファームウェア > USB ソフトウェア更新に進みます。
「はい」をクリックしてファームウェアの更新を開始します。



4、
「Yes」を選択します。



5、
ファームウェアのアップデートには数分かかります。完了すると、モニターがブラックアウトし、構成のアップグレード状態になります。
(アップグレード中は電源を切らないでください)



6、
アップデートが完了したら、ファームウェア ページでファームウェア バージョンをチェックして、最新であることを確認します。